令和７年度　澄川中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：36008

実態

「学ぶ力」

これまでの　成果	課　題
◇生徒アンケートから、「疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている。」という実態がある。 ◇ICT を活用して調べ学習や意見交流、表現活動等を行うことで、生徒が伸びを実感する場面が増えてきていることが、共通指標から明らかになった。 ◇札幌市の共通指標から、「自分の意見を進んで発言しようとしている」生徒の割合が直近３年間で増加傾向にある。	◇札幌市の共通指標から、「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が直近３年間で減少傾向にあり、見通しをもって、課題解決のために自主的に取り組む姿勢が乏しく、家庭学習の習慣が定着していない実態を捉えることができる。 ◇「自分の意見を進んで発言しようとしている」生徒の割合が直近３年間で増加傾向にはあるが、７割台であり他の項目に比べると低い。

「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く**相互承認の感度**〉　の現状と課題

◇札幌市の共通指標の「自分が必要にされていると感じる」等の相互承認に関する項目において、肯定的な回答が３年連続増加傾向にある。生徒同士による行事後の相互評価の場を設定していることが自己肯定感の高まりに寄与していると考えられる。引き続き、自分に自信がもてるような場や価値付けが重要となる。

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

取組

AAR サイクルの視点で捉え直した **課題探究的な学習**の推進

◇研究副主題「特別活動における主体的・対話的な深い学び」の実現
　→課題を自分ごとと捉えることができるような導入の工夫
　→自分で課題を選択・決定できる個別探究の充実
　→他者との対話によって思考を再構築する協働探究の充実
◇分かる・できる・楽しい授業づくりの充実
　→一人一人が自己の成長や学びの進捗状況を自覚できる振り返りの場を設定する
　→多様な他者との協働を通して、よりよい学びの創造を目指す



さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく **自治的な活動**の充実

◇よりよい学校にするための生徒会活動の充実
　→学校生活に関する議題（きまり等）にした生徒総会の実施
　→年間活動計画と報告を発表する場を設ける（年２回）
◇自分たちの生活を振り返る場の設定
　→毎月の委員会で今月の成果と来月の課題を確認する

〈本プログラムの実行に向けて〉

新年度
◇本プログラム共有
・職員会議（４月 28 日）
・学年懇談
・パートナー校会議

〔一人一人の教職員〕
◇日常の授業・教育活動
◇各自の研修…札教研、年次研修等

〔学校全体〕
◇校内研修
◇生徒の育ちを共有
・学年会、パートナー校、健育

次年度へ
◇学校評価
◇成果と課題を共有
・校内研修会（２月 17 日）